

ちょっと拝見！ MOKA の職場



めっき作業準備の様子



営業管理部の同僚



休日はサッカーでリフレッシュ

桑名商事（株）真岡工場
営業管理部 生産管理課
やすらおか はやと
安良岡 勇人さん（24歳）

お客さまのニーズに応じた
めっき技術で世の中へ貢献したい



仕事内容を教えてください

当社は自動車部品や医療機器、精密機器、半導体電子部品等のめっき加工（部品など製品の表面に薄い金属の膜をつくり耐久性や強度を高めること）を行っています。私は、加工する製品の受注管理をはじめ、加工に必要な材料の調達、製造工程、出荷・納品を統合的に管理しています。

入社きっかけは何でしたか？

大学で機械力学や製図について勉強していたので精密機械関係の仕事に就きたいと考えていました。当社での会社見学の際、社長の人柄に惹かれたことや、入社後も業務に必要なさまざまな資格を取得できる環境に魅かれ入社を決めました。

やりがいは何ですか？

製品の受注から納品までを短期間で行うことが多いため、社内各部門と密に連携しながら業務を

進めています。自身が携わった製品が無事に納品され、お客さまの製品の一部となり市場で出会ったときにやりがいを感ずります。

社内の雰囲気はどのようなですか？

社員同士の交流が多く、職種や役職関係なくフラットで風通しの良い雰囲気です。男女比は6：4と、比較的女性も多いです。また年間休日は125日とワーク・ライフ・バランスにも配慮しているため、社員第一の職場環境だと思います。

今後の目標を教えてください

新卒で入社し1年が経ち、自身の改善点も見えてきました。効率的に行動し、お客さまとの納期交渉など、早く1人で担当できるようになりたいです。また、お客さまからのめっき加工に関する相談や要望にも応じられるよう、より多くの知識と技術を身に付けていきたいです。

会社プロフィール

C&E-plating
桑名商事株式会社

桑名商事株式会社 真岡工場

【所在】寺内 1493-1

【設立】1956年



会社 HP



化学・電気を応用した総合表面処理を専門とする会社です。同社は、65年以上のめっき加工の経験をもとに独自の薬液を調合し、顧客の求める機能に合わせた被膜づくりに取り組んでいます。現在は自動車部品、医療機器、精密機器、半導体電子部品等1700社と取り引きしています。

掲載希望の方は秘書広報課広報係へ
TEL 83-8100 kouhou@city.moka.lg.jp

あの日あそこ 第422回



よしかわ ゆみこ
吉川 祐三子さん
（並木町在住・86歳）



心のままキャンバスに描く
夢中になれる時間です

私は昭和13年、大阪市で生まれ、8人きょうだいの次女として育ちました。5歳の頃、太平洋戦争が始まりました。戦争が激化すると、父が軍事産業の徴兵として召集され、後を追って広島県呉市へ戦火を逃れて命さながら家族で疎開しました。8月のある朝、家の前で遊んでいた時、ドーンという轟音とともに地響きが起こり、家にいた母と妹が天井まで跳ね上がるほどのものすごい衝撃がありました。それは広島市に落とされた原子爆弾の衝撃でした。とても恐ろしい体験でした。

終戦を迎え、その後大阪へ戻り、小学2年生の後半から学生時代を過ごしました。高校は京都の西本願寺系の親鸞聖人の教えのある大阪の相愛学園でした。朝礼では生徒・職員全員で誓願歌を歌うことが日課でした。

卒業後はアパレル業界のオンワード樺山へ入社。5年間勤務し、初代社長の時代の先端を行く経営力、大阪商人の在り方、次代へつなぐ若者の生き方を教えてもらいました。

退職後、母と婦人服店を営み、店を2店舗増やし実家の土台をつくりました。その後結婚し、



▲真岡市市制施行50周年文化祭大賞を受賞した時の一枚（左）
自宅で油絵を描いている様子（右）

昭和39年、生まれて間もない長男を連れて真岡市へ引っ越しました。周りには頼れる人もいなく寂しさを感じていましたが、近所の人たちに助けられながら、夫が立ち上げた事業や会社を手伝い協力しながら夫を支え、子ども3人を育てました。当時から仲が良い真岡小の母親学級OBの仲間とは、現在も月1回の楽しい食事会や時々旅行など、約40年交流が続いており、これが長生きの秘訣であり、心の拠り所です。

そして子育てが落ち着いた頃、「静と動」の趣味を始めました。「動」は体力づくりに週3、4回ほどプールへ行き、体調に合った運動と水中歩行などを行っています。「静」は市民講座の絵画教室で油絵を習い、宇都宮や東京でも学びました。最近では、光風会会友として、新国立美術館へ春と秋に大作を10年間出品しています。目標だった日展公募には令和4・5年と2年連続で入選を果たし、昨年個展を開催することができました。

勝道上人の生誕地、そして親鸞聖人・二宮尊徳ゆかりの地に嫁いだのも何かのご縁。これからも報徳精神を忘れずに感謝の心を持って、人との関わりを大切にしながら、明るく過ごしたいと思います。

消費生活センターメモ No.491

5月は消費者月間です



今年のテーマ 「デジタル時代に求められる消費者力とは」

社会のデジタル化が急速に進み、利便性が増す一方、インターネット関連の相談件数が上位を占めています。

日本語表記の販売サイトでも、海外の詐欺的通販サイトの場合があり、購入時の入力情報が悪用される恐れがあります。インターネット特有の匿名性により、被害回復が困難な詐欺被害が拡大しています。

詐欺的窓口や特徴を知り、「気づく」消費者力を高めることが求められています。

【相談窓口】消費生活センター（くらし安全課内）
TEL 0285-84-7830（ハナシテナヤミナシ）
平日 9:00～12:00 13:00～16:00 ※相談料無料



事例1 突然、パソコンに「ウイルス感染」とメッセージが表示され、操作ができなくなった。

ウイルス感染ではありません。偽の警告画面のため、サポート事業者へ連絡しないでください。

事例2 通販サイトで購入した商品が届かず、販売業者と連絡が取れない。

通販サイトを利用する前に、「特定商取引法に基づく表示」等で販売会社の所在地や連絡先、販売責任者名などの情報をしっかり確認しましょう。

事例3 不在通知のSMSが届き、パスワード等を入力したらキャリア決済で課金された。

日頃利用している事業者等からのメールでも、まずフィッシング（※）を疑いましょう。記載されているURLにはアクセスせず、正規アプリからアクセスし、ID・パスワード等を使い回さないようにしましょう。



※個人情報を入力させ、パスワード等の情報を盗み取る手口